



2022年「新春号」



ふくしだより

[発行/編集]
令和4年(2022年)
1月 吉日
小口福祉委員会

『新年のご挨拶』

委員長 古株 幸一

民生委員・児童委員 西村 良子

『ふつうに~~く~~らせる~~し~~あわせ』

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、良き新春を迎えたことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、自治会をはじめ、地域活動や福祉活動に、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

令和三年は前年に続き、新型コロナウイルスが感染拡大する中、各事業の自粛や、感染予防をしながら、地域の皆様の安心、安全を最優先に鑑みた一年となりました。このような中、皆様のご理解とご協力のおかげにより、活動が進められたことに対し、厚く御礼申上げます。

今まで当たり前のように集い、語り合ひ、酒を酌み交わし、楽しみを共にしてつながりを深めて参りました。コロナ禍での厳しい状況の中、新しい生活様式が求められ、定着を図りながら皆様と共に福祉活動に出来ることから少しづつ取り組んで参ります。

委員には守秘義務が課せられています。一人ひとりの人権とプライバシーを尊重し、信頼いただける存在になればと思つております。

まだまだ十分な活動には至つております。新型コロナウイルスの蔓延により、それまでの生活が一変してから、早二年が経ちました。

本年度も、町の行事は縮小され、小口運動会・夏祭りも中止となり、社会教育推進員として、区民同士の交流や運動する機会を広げることが出来ず、大変申し訳なく思っています。

『明るく、希望いっぱいの素晴らしい一年でありますように。』

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。私の任期も三年目となり、不安いっぱい、戸惑いばかりでしたが、先輩方地域の皆さんに支えていただき、心強く思つております。

少子高齢化が進む中において、住民同士が支え合い、誰もが安心して住み続けることが出来る地域づくりが求められています。

私たち、民生・児童委員は、身近な相談相手として「行政へのつなぎ役」、「地域の見守り活動」などを行つています。

『お出会いにするのを楽しみに』

社会教育推進員 島田 典子

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。「明るく、希望いっぱいの素晴らしい一年でありますように。」



私自身も、コロナ蔓延の始まりと共に、定年退職を迎え、自粛も相まって人との交流が減り、また、運動不足で困っています。

そんな中、福祉委員会では可能な範囲で「おたつしや教室」を継続しているだけ、自治区の皆さんにお目にかかり、和やかに過ごすことが出来ました。

また、敬老会でお弁当と記念品をお配りした際は、久々にお目にかかりた方もおられ、お元気な様子に安心すると共に、かえつて元気をいただいた気持ちになり、改めて人とのふれあいの重要性を再認識しました。

先日、健康推進員の研修で、「プラス十分運動」について学びました。十分の散歩で千歩相当とか。早速実践。

小口公民館から仲良し広場・真氣神社・観音寺・牟礼公園を抜け公民館へ戻り、万歩計を見ると三千歩でした。

日常の家事の二千歩と合わせ、一日五千歩で認知症や、介護予防になるそうです。そう言えば、私が嫁いで来た頃、家の老婆ちやんが乳母車を押して、そのコースを散歩していたのを思い出しました。昔から、ちょうど良い散歩コースなのですね。お天気の良い日に、体調に合わせて出かけ、たまたまお目にかかるた方と挨拶するだけでも、気持ちも晴れますね。

そろそろコロナ禍も収束の気配(希望)。皆さんとお会いするのを楽しみに、まずは散歩から。徐々に始動していきましょう。



『新年のご挨拶』

小口老人クラブ会長 西村太一郎

「新快速電車の窓から冬の景色を眺め、ついうつとりしながら大阪の病院に向かうところです。」



新年あけまして

おめでとうございます。

日頃は、老人クラブ全般にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。

「大阪に近づきました。」

小口老人クラブが、コロナ禍の収束によって、より良い活動が出来ます事を願い、皆様には新年が更に幸せな年でありますようお祈りします。

私事ですが、六十歳定年前の検診で胃癌が見つかり、直ぐに大手術を受け、約一ヶ月後に復帰しました。

その後、三つの癌専門病院や地元のクリニック等にお世話になり乍ら、今日に至っています。

当時は、もう二、三年の命と覚悟を決め、日々を大切に生きるように考えました。

出来るだけ多くの人に接し、学び教えるも、精一杯生き、人ととの出会いを重ね、同じ病気仲間との付き合いが世間が広がり、人には各自の生活があり、重く価値のあることに気付かせてもらったのは大きな財産でした。

集落等地域の皆様、仕事場での仲間からも多くの事を教わり、今日の命があると思っています。

人との支え合いの広さ・深さが、また、近隣の方との支え合い、助け合いが福祉と思っています。

益々高齢化が進むと言われ続け、社会・地域・家庭で役立つ仕事や活動が求められ、若い人たちが憧れる高齢者となれるよう、一生懸命前を向いて生きたいものです。



活動報告

福祉委員会研修会

令和三年六月十九日（日）、竜王町社会福祉協議会の地域福祉担当の井上さんを講師にお招きし、「福の在り方について」、懇談会の形式で研修会を開催いたしました。皆様熱心に受講いたしました。

おたつしや教室

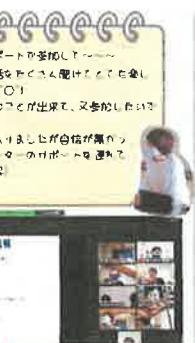
六月、七月、十月、十一月、十二月に「おたつしや教室」を開催いたしました。赤十字奉仕団にもボランティアとして参加いたしました。健康推進員、いきいき百歳体操など、約一時間の軽い運動を行いました。

令和三年十月十六日（土）、竜王町社会福祉協議会にご協力いただき、五六十代～八十年代の生徒たちがサロングを開催いたしました。

県立大学の上田先生によるボランティアさんと一緒に、オンラインサロンを運営する五名の皆さんと一緒に、ボランティアとして参加いたしました。滋賀県の風景や、音食文化の進行の下、懐かしい話などを盛り上げました。

【これから音頭】

過ぎてきたあと 振り向くよりも
いまを楽しく 生きようよ
ながい人生 落ちこぼれずに
よくぞここまで 来れたもの
まだまだ人生 これからだ
これから音頭で 健やかに すこやかに



竜王町ふくしたよりで紹介されました♪

歳末友愛訪問

令和三年十二月十九日（日）、「歳末友愛訪問」で、福祉委員会がさせたての「ほのぼの会」の皆さんをお宅を訪問させました。皆様お元気なご様子で、プレゼントも喜んでいただけでした。

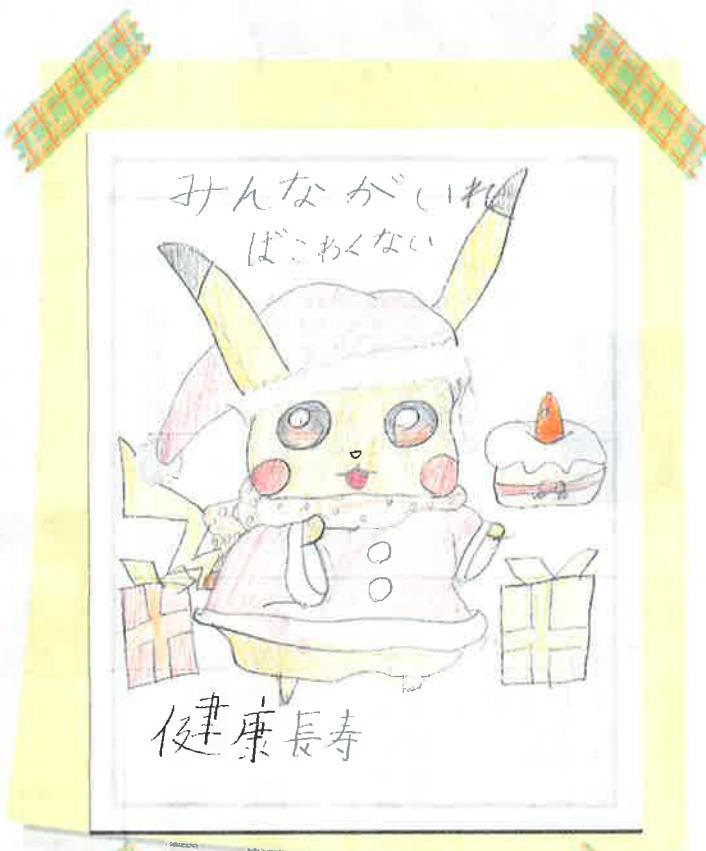


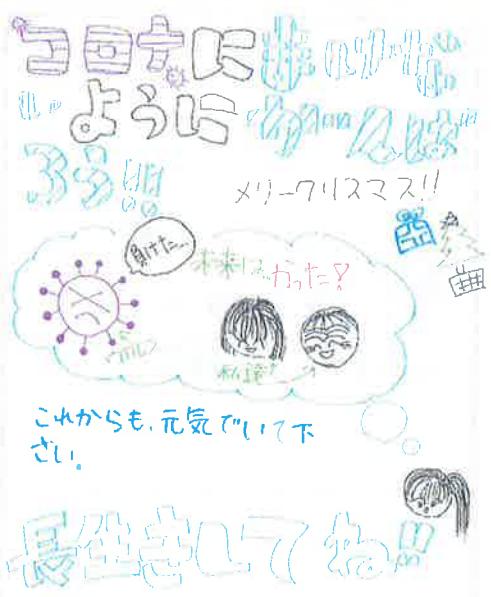
令和四年
一月十五日（土）
二月十九日（土）
三月十二日（土）
午前十時より小口公民館にて開催予定です。

みんな仲良く 手をとりあって
行こう ことぶき 花の道
喜寿も米寿も 白寿も無事に
越えてみせるの 心意気
まだまだ人生 これからだ
これから音頭で 健やかに すこやかに
「ほのぼの会」のテーマソングです。
ほのぼの会は「これから音頭」で始まります。
早く再開出来る事を祈るばかりです。



昨年12月19日の「歳末友愛訪問」に際し、こどもたちから寄せられました作品を紹介させていただきます。「ほのぼの会」の皆さんも、大変喜んでいただきました！ こども会の皆さん、ありがとうございました♪







おひいちゃんおばあちゃんへ

このごろなんばんに来てましたかが
せきひかないよう薬をつけて
くださいましてコロナがまだま
だよわらうとはいひないので気を
つけたまへ。どうぞクリスマス
泊り合せんお正月ですね。
いつも長生きしてください。



メリークリスマス



いつも元気で元気
でいてくださいね。



なかいきしてね

コロナにならないよう

でね



